月刊 あなたにこの本を！ 平成 23 年 8 月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

…字が大きめ　…中高生にも　…図・写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

神饌（しんせん）
ー神様の食事から“食の原点”を見つめるー

南里空海　著
世界文化社　2520 円　（0012254511）

ジャンル ： 歴史・文化に親しむ

祭りの時に神様に供える食事のことを神饌と言う。明治以降、神職の世襲廃止などにより、古式通り調理したものを供える所は少ない。本書は全国各地 18 社の祭りと公にされて来なかった神饌を美麗なカラー写真で紹介した貴重な記録だ。その内容はアワビ、タイ等のごちそうから鳥居型の餅(もち)、犬の形の揚物など由来不明のものまでバラエティに富む。感謝と祈りの心でおいしいものを提供することが日本の食の原点であると気付かされる。雑誌連載の単行本化。〔176〕

日本のジオパーク　ー見る・食べる・学ぶー

尾池和夫、加藤碩一、渡辺真人　著
ナカニシヤ出版 1890 円（0012251207）

ジャンル ： 自然・環境を考える

ジオパークとは、地形や地層について知ることができる自然公園を指し、日本では、山陰海岸や恐竜渓谷ふくい勝山など 14 カ所が認定されている。本書は、ガイドと共に地層を見て歩いたり、大地の恩恵ともいえる特産品を味わったり、化石採集を体験したり、ジオパークのさまざまな楽しみ方を紹介する。地面の下の隠れた秘密にせまり、日本列島を地質学から考えることの面白さや大切さを教えてくれる。その地に出かけてみたくなる案内書。〔454〕

われにやさしき人多かりき　ーわたしの文学人生ー

田辺聖子　著
集英社　1785 円　（0012263766）

ジャンル ： 大阪にゆかりの本

『田辺聖子全集』の各巻末に著者が書き下ろしたエッセイを再編集した。伝記小説や古典作品の小説化など、多岐にわたる創作活動で出会った「やさしき」人々や自身の経験をユーモアあふれる文章で語る。中年男女間の恋愛や「ハイ・ミス」と呼ばれた女性の姿を中心に描き、読者を力づけてきた作品の秘密が明かされる。純文学と大衆文学の区分けが顕著な時代に、境目を気にせず自身の視点で表現し続けた著者の熱い情熱と飽くなき創作精神が伝わってくる。〔910.28〕

江戸の卵は1個 400 円！　ーモノの値段で知る江戸の暮らしー

丸田　勲　著
光文社　777 円　(0012278415)

ジャンル ： 歴史・文化に親しむ

モノの値段がわかれば、江戸の暮らしが見えてくる。その考えから、著者は、文化・文政期の相場を基準に諸物価を円に換算していく。例えば大工の年収は 317 万円。米の値段は今より高く、食費が年収の約半分を占めたが、火事の多い江戸の長屋は安普請で、家賃は月１万円と安かった。値段と共にその背景が解説され、当時の人々の生活が生き生きと浮かび上がってくる。100 円ショップのような均一価格の店があったことなど、楽しい驚きに出会える。〔337.8〕

拙者は食えん！　ーサムライ洋食事始ー

熊田忠雄　著
新潮社　1575 円　(0012279313)

ジャンル ： 歴史・文化に親しむ

幕末、外交や調査･研究のために、多くの日本人が欧米に渡った。著者は、彼らの残した日記などから、「食」に関わる記述を丁寧に拾い上げていく。パンや肉を口にして「塩気がない」「脂臭い」と嘆いたり、アイスクリームに舌鼓を打ったりと、食事に一喜一憂する侍たちの姿は、どこかユーモラスである。異文化に接して悩み、戸惑いながらも、果敢に世界へ踏み出していった有名無名の人々の心情が率直に描かれ、時代を超えて共感できる。〔383.8〕

世界一敷居が低い最新医学教室

瀬名秀明　著
ポプラ社　1260 円　(0012277667)

ジャンル ： 知識・教養を深める

作家であり薬学博士でもある著者の新聞連載をまとめた科学エッセイ。第一級の論文から科学的な裏付けをしっかりとり、SF作家ならではの視点を加え、読み物として最新医学をわかりやすく解説している。人間の脳とロボットの体をつないで念じるだけでロボットを動かす、ミトコンドリアのDNA配列から恋愛の相性を見るなど、医療科学の将来の可能性に驚かされる。夢のような先端技術が私たちのすぐ身近にある、そんな未来を想像させてくれる。〔490.4〕

色弱が世界を変える　ーカラーユニバーサルデザイン最前線ー

伊賀公一　著
太田出版　1890 円　(0012282267)

ジャンル ： 生き方・考え方に学ぶ

色弱(色覚異常)である著者が、成長する中での悩み、受けた誤解などを交えて半生をつづり、「色のバリアフリー」のために立ち上げたNPO法人の仕事について語る。全国には異なった型とレベルで 320 万人の色弱者が存在し、トイレの空き表示や、路線図・ハザードマップの色を読み取れないといった生活上の不便や危険は多い。色覚による比較写真も掲載され、わずかな変更でだれにでも読み取れる表示に改善できることがわかり、意識の転換をうながされる。〔496〕

直す現場

百木一朗　著
ビレッジプレス　1575 円　(0012272077)

ジャンル ： 暮しにうるおいを

工場の流れ作業で作られる品物であっても、修理は品物全部の仕組みや材質を熟知する人の手が必要だ。カメラの修理、かけつぎ、自動車の鈑金(ばんきん)、畳の表替えなど、多種多様な修理やメンテナンスの仕事を詳細な絵と文章で紹介する。著者は直している人の姿をあえて描かないことで、主役はモノであるという直し人のプロ意識を伝えている。安い品物をどんどん消費することが当たり前の現代において、モノを大事にすることの大切さを教えてくれる。〔502〕